

平成23年度当初予算の主な取り組み

「くまもとの夢」の実現と県勢発展の礎を築くため、更なる重点化を図りました。



県政トピックス

ねんりんピック2011熊本 ボランティア募集!



ASO坊健太くん

今年10月15日(土)から18日(火)にかけて開催する「ねんりんピック2011(ふれ愛)熊本」の総合開会式(熊本県民総合運動公園)やイベント会場(崇城大学市民ホール、グランメッセ熊本、熊本県立美術館分館)などで、全国から参加される選手や来場者の皆さんを温かくお迎えするためのボランティアを募集しています。

大会情報や募集内容など、詳しくは大会ホームページをご覧ください。

○応募締切/6月30日(木)

■お問い合わせ先/ねんりんピック2011熊本実行委員会事務局 ☎096-333-2257

“光化学スモッグ”にご注意ください!

光化学スモッグは、3~10月ごろにかけて日差しが強く、気温が20℃以上で風の弱い日に発生し、目やのどが痛くなることがありますので、屋外活動を控える必要があります。



大気環境測定車

光化学スモッグ注意報が発令された場合、テレビ・ラジオなどでお知らせするとともに、「光化学スモッグメール」を配信しています。屋外で活動される方は、携帯電話にぜひ登録してください。

登録方法

sky@123123.tv に空メールを送信し、返信されたメールの指示に沿ってください。登録用QRコード



■お問い合わせ先/環境保全課 ☎096-333-2269

戦略的な地域振興

ねらい 定住促進や雇用の創出、交流人口の拡大、地域の安全・安心の強化を図ります。

- 移住定住促進や起業化などを支援する「地域づくり“夢チャレンジ”推進事業」を創設
- 農林水産品の「くまもとイチ押しブランドづくり」を推進
- 飼料用稲の生産と利用拡大を推進
- 建設業者の新分野への進出などを支援
- 工場などを新・増設し、雇用を拡大する地場企業への助成
- ドクターヘリを導入し、救急医療搬送体制を強化(平成23年12月末ごろ予定)
- 中山間地域で24時間在宅サービス提供のモデルづくり



住民も出資して立ち上げた商店

新エネルギー推進

ねらい 農山漁村での新エネルギーの活用や新エネルギー産業の振興を図ります。

- ビニールハウスでの太陽光発電の利用に関する実証実験を実施
- 農業用水による小水力発電や、バイオマスエネルギーの実証実験を実施
- 太陽光発電などの活用によるスマートグリッドの実現に向けた実証実験を実施
- 住宅用太陽光発電の設置を助成
- 電気自動車などの普及のため、充電設備を整備(県内34カ所)



アジアターゲット

ねらい 急成長するアジアをターゲットにした、誘客・ビジネス展開の最大化を目指します。

- 熊本市、熊本大学と共同で上海事務所を設置(平成23年秋ごろ予定)
- 香港・シンガポールにビジネスアドバイザーを配置
- 海外での物産展や海外バイヤーを招いた商談会を開催
- アジアとの航空路線や、クルーズ船ツアー、医療観光などを強化
- アジア向け「くまもとアートポリス」の情報を発信



香港でのトップセールス

豊かな自然や文化を未来につなぐ

ねらい 恵み豊かな県土に育まれた地下水や阿蘇の草原などの自然と、文化などの「くまもとの宝」を守り、磨き上げ、未来へつなぎます。

- 地下水の汚染防止対策や地下水保全の協働体制づくりを推進
- 阿蘇の草原の維持・再生に向けた施策などを検討
- あか牛の放牧環境などの整備を助成
- 水銀の削減のため蛍光灯や水銀灯のLED化を推進
- 加藤家、細川家の400年の歴史や文化を伝承・活用
- 国営公園化を目指す鞠智(きくち)城や、国宝青井阿蘇神社、今年100周年を迎える辛亥(しんがい)革命を成し遂げた孫文と宮崎滔天(とうてん)の交流など、各地の歴史、文化の磨き上げ



あか牛の放牧

菊池水源

若者の夢への挑戦サポート

ねらい 若者の夢への挑戦をサポートし、郷土を支える次世代の育成を目指します。

- 県内の私学で学ぶ全ての生徒の夢への挑戦をサポートする「時習館構想」の新たな展開として、海外大学を志す生徒を支援
- 英語のCD教材を本県独自に開発し、全中学生へ配布
- 児童養護施設などから進学を志す子どもたちに対し、生活費を無利子貸付
- 生活保護世帯の子どもに対し、大学進学の応援資金を新たに給付
- 新卒等未就職者対策など、若者の就職支援や就職相談などを強化
- 重度・重複障がい児童生徒の学習環境整備のため、新たな特別支援学校の基本構想策定



知事出前ゼミ

蒲島知事が語る

平成23年度当初予算の



100年に一度のビッグチャンス

九州新幹線全線開業、熊本市の政令市移行というビッグチャンスを最大限に生かし、熊本を大きく飛躍させたいと考えています。交流人口の拡大やビジネスチャンスの最大化、熊本の拠点性向上につながる取り組みを、更に強化します。こうした取り組みにより、

◎熊本の九州におけるハブ機能を高め、将来の「州都」実現を目指します。

「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と思える熊本を実現します。

景気浮揚・雇用対策

依然として厳しい景気・雇用情勢を踏まえ、国の経済対策の基金などを活用し、県内の景気浮揚につながる事業を追加しました。また、緊急雇用創出基金、ふるさと雇用再生特別基金を活用し、約5,000人の雇用創出が見込めるさまざまな事業を行います。

財政再建

「財政再建戦略」の取り組みを実施し、歳入・歳出両面をさらに見直した結果、県の貯金(財政調整用基金)を5年ぶりに増額することができました。また、1兆700億円近くあった県の借金(県債)も、平成24年度末には、1兆円を下回る見込みです。財政再建に向けた取り組みは着実に進んでいます。

県民の皆さん、熊本の優れた県民力を結集し、文化の薫り高い品格ある熊本をつくっていきましょう。

